



湾岸・アラビア半島地域ニュース

カタール：アラブ諸国における報道の自由についての調査結果

(3月22日付ザ・ペニンシュラ紙)

本調査は、ヨルダンに拠点を置くアンマン人権研究センターがアラブ諸国における報道の自由について調査したもので、以下18の国・地域のジャーナリストを対象として実施された。

1. 対象国

アルジェリア、UAE、バハレーン、エジプト、イラク、ヨルダン、クウェイト、レバノン、リビア、モーリタニア、モロッコ、パレスチナ、カタール、サウジアラビア、スーダン、シリア、チュニジア、イエメン

2. 質問内容

「あなたの国では、メディアに対する事前検閲が法律で許されていますか」「あなたの国では、取材や出版に関してジャーナリストが日常的に逮捕（予防拘禁）されていますか」「あなたの国ではジャーナリストが軍事裁判や民事裁判にかけられることがありますか」といった26項目から構成されており、それぞれの質問に対して各国のジャーナリストが自国の現状について回答又はその程度を評価する方式が採用された。

3. 調査結果

- | | |
|-----------|-----------------------------------|
| (1) 極めて高い | カタール、クウェイト、モーリタニア |
| (2) 高い | ヨルダン、UAE、イラク、パレスチナ、レバノン、モロッコ、イエメン |
| (3) 普通 | バハレーン、アルジェリア、スーダン、エジプト |
| (4) 低い | チュニジア、サウジアラビア、シリア |
| (5) 極めて低い | リビア |